

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	心も、身体もゆったりと、楽しく安心して自分らしく暮らしていくの理念に素づいて支援している。		
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	居間等に理念を明示し、スタッフ一丸となって実践に取り組んでいます。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	毎月若芽新聞をスタッフが回り番で作成し近況報告、行事などをご家族様へ送っています。		あるご家族の方が毎月ファイルしてくれて小冊子にまとめてくれました。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所の方々と日常の挨拶が出来る関係が築けていますが、一部のスタッフからは徹底されておりません。		挨拶は基本なので今後は徹底していききたいと思います。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内のイベントなどのお誘いを受けたり、また、ホームの行事のご案内をさせていただいたりと交流を深めています。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の高齢者、ご家族のお困り頃の相談を受けた時は役立つ助言などをさせていただきます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		スピーチロックをしないケアを徹底していこうと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	外部の方を含め誰でも意見、苦情等を言えるようリビングの見やすい場所へ連絡先を明示しています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	近況報告や金銭出納状況等、毎月ご家族様への報告を郵送している。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	市町村への苦情意見の連絡先、国保連の苦情受付先などの連絡先を知らせています。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は日常的に話し合いの中から運営に反映させています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟ではないですが対応出来ています。		行事、通院が既出や緊急時など優先順位を考え何とか対応できているのが現状です。 この点は今後の課題です。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員の移動はありますが、特に利用者へのダメージ等はなく、特別な配慮は行っていません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>運営者は、職員の段階に応じて研修を受けることが出来るよう計画を立てている。事業所内では特別計画は立てたてたはませんが業務内でのトレーニングはその都度行っています。</p>	<p>これからは法人内外の研修などに積極的に参加できるよう努めていきたいと思っています。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>運営者は管理者にその取り組みを一任している状態です。管理者は地域の内では包括支援センター認知症友の会等と連携を持ってネットワーク作りや勉強会などを通じてサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>管理者はスタッフに対してストレスを軽減させる等様々な取り組みをしています。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は、各自向上心を持って働けるように努めている。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談時、入居案内をすると共にご家族さま関係各所と連絡をとって不安なく入居できるよう努めています。また、入居後もご本人様ご家族様と連携を取り不安なく暮らしていただけるよう努めています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>話し合いを十分に持つようにしており、この点は問題なく出来ています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	問題なく来ています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	体験入居や昼食を共にしたり、場の雰囲気に馴染めるようご家族様と相談しながら工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	スタッフと共同作業をしたり、また、家族(スタッフ)にお困りごとの相談をしたり、入居者様と家族的な関係を築き喜怒哀楽を共有しています。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様、入居者様も含めスタッフ共々家族的な関係を築き喜怒哀楽を共有しています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	上記のように良い関係が築けておりこの点は問題なく来ています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ホームはいつでも訪問できるので、ご家族友人など数多くの訪問があります。また、郵便、電話等 要望があれば対応し、本人の生活暦が途切れないよう努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様に共同作業をしていただくことによって親近感、信頼関係が生まれ孤立することなく支えあってよい関係が築けるよう支援している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在は契約終了して方との継続的なかわりの必要な利用者のご家族はおられません。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人ご家族様から、話を十分に聞かせて頂いており、この点は問題なく出来ています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様に入居前マニュアルにそって個々の情報を得、また入居後の引き続きご家族、ご本人様から情報を得、入居者様にあった暮らし方を支援しています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	協力医、ご家族様また、スタッフとの情報交換をすることによって一人一人の現状を総合的に把握する事に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	センター方式のシートを用い介護支援専門員の適切な管理のもとにスタッフ全員で介護計画を作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護支援専門員の管理監督のもとに変化が生じたその都度、現状に即した介護計画の見直し、作成を行っています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	アセスメントシート、介護計画書など、個別記録に記入し、スタッフ同士で共有することによって実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	状況に応じて入居者様の必要に柔軟な支援が来ています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員、交番、役場、ボランティアの人達の協力を得ながら、本人の意向に添えるように支援しています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	状況に応じて地域のケアマネジャーやサービス事業者と連絡を取り支援を行っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方に出席していただき情報交換を行っていましたが、現在は担当者の移動により不在になってしまいました。		次の方の推薦をお願いしております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医療機関が月に2度の訪問診療に来てくれています。また、必要時その都度必要に応じて相談にも来ていただいています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	砂川市立病院の医療連携室の協力を得て相談したり支援を受けられる体制が出来ています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	グループホームの介護支援専門員が准看護師で気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療の活用を支援しています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関に働きかけ早期退院に向けた体制が問題なく出来ています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族、主治医との連携を取り繰り返し相談しながらスタッフ全員で情報を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	問題なく出来ています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入居前後はご家族様 又は 別の施設などと情報交換を密に行い住み替えによるダメージを防ぐことに努めています。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	入居者様の誇りやプライバシーを損ねないよう、言葉かけなどに常に配慮していますが、一部のスタッフには徹底されず、今後は指導を徹底していきたいと思えます。記録等の個人情報の取扱いにも注意しています。		今後は自尊心を傷つけないような声かけに注意していきます。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	一人一人納得した生活が出来るように自己決定権の機会を作り援助できている。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ホーム内のざっくりした流れは有りますが、日々その人らしい暮らしが出来るよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	必要に応じて訪問理美容を利用しています。化粧品、衣類なども個々の希望に応じ購入してます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の入居者様との雑談の中で食事の希望を聞いたり、また、野菜の下処理、食器洗い等出来ることを入居者様にお手伝いしていただいています。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	個人個人を尊重して暮らしておりますので問題なく出来ています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者様の排泄パターンを把握し気持ちよく排泄できるよう心がけ等をし自立に向けての支援を行っています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	個々の身体状況にあわせた支援を行っていますが、夜間の入浴はスタッフの配置などを考えると出来ていません。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	昼夜逆転しないよう、日常生活の中に活動できるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人一人似合った支援を行っています。畑仕事、編物、玄関掃除、花への水やり、洗濯物たたみ等、本人が楽しめることを性格暦を生かし、活躍していただき日々楽しみながら生活しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	所持管理はホームで行っていますが、金銭管理に関してオープンにし、一人一人の希望に応じ使用できるように支援しています。		一部の利用者は医師の指示により1ヶ月の使用金額をお小遣い帳に記入していただきご本人で管理していただいています。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日常的な外出はスタッフの配置によっては難しい時もあるが、出来るだけ戸外に出られるよう支援しています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族様、ヘルパーの支援をいただき出かけられる機会を作っています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	入居者様の希望があればその都度、対応しています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族、知人、友人 近所の方など 気軽に立ち寄って頂けるよう配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束のないケアを目指していますが、危険を伴う恐れのある場合、出入り口にソファーを置くことがあります。		拘束のないケアを目指してはいるのですが、人間的に厳しい場合もあります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵をかけないケアを目指しているが、状況によっては安全を確保する目的で鍵をかけることがあります。		
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、 安全に配慮している。	個々の状況に応じその毎度、入居者様の様子を把握し安全に配慮しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、 危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者様の状況に応じて危険と思われるものは保管管理をしています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等 を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの 状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人一人の状況をスタッフ全員把握し様々な事故の防止に取り組んでいます。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、 全ての職員が応急手当や初期対応の 訓練を定期的に行っている。	定期的には行っておらず、新人スタッフには浸透されていません。		今後は定期的に話し合っていこうと思います。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、 昼夜を問わず利用者が避難できる 方法を身につけ、日ごろより地域の 人々の協力を得られるよう働きか けている。	消防署の協力を得て年に2回の避難訓練を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家 族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切 にした対応策を話し合っている。	病状の変化等については、その都度ご家族に電話による連絡をし現在の状況を説 明し、話し合いをしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見 に努め、気づいた際には速やかに情報を 共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェック、水分摂取量、排便、排尿など、記録し個々の体調気分の 変化等スタッフ間で情報を共有し早期発見対応に結び付けている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化の確認 に努めている。	服用薬カード等を用い全職員が薬の目的や副作用用法用量について理解してお り、また症状の変化に応じて医師による検診相談に勤めています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理 解し、予防と対応のための飲食物の工夫 や身体を動かす働きかけに取り組んでい る。	水分量の把握、また、食事面での工夫、散歩体操等で便秘の解消を行っている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている。	毎食後に口腔ケアを支援しています。また、問題があれば歯科医師と連携を図り口 腔ケア治療を行うよう支援している。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている。	個々の食事摂取量を把握し一日の摂取カロリー及びバランスなどを考えて支援し ています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年インフルエンザの予防接種を入居者様、スタッフ全員で受けています。また、ノロウイルス、疥癬菌などの感染症に対する予防などはマニュアルに促って実施している。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	布巾まな板などの調理器具は毎日消毒しています。また、食材の管理も徹底して行っており買い物もまめに行き新鮮な食材を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入居者様と、花を植えたり野菜を植えたりして自然な暮らしが出来るよう工夫しています。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり、また、時間帯でテレビの音の調節をしたり入居者様に不快を与えない配慮をしています。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファー玄関前のエントランス 喫煙場所を設ける等、入居者様の憩いの場所になっている。		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安全に配慮しつつ入居される前に使用していた家具などを使用していただき、居心地よく暮らせるよう工夫しています。		カーテン、絨毯だけは入居時に防災仕様をお願いしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	ゴミの処理をこまめにしており悪臭が発生しないよう日々心がけています。 温度計 湿度計を設置し状況に応じて換気など 温湿度の調整を行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者様の身体状況に合わせ居間、居室などの安全に自立した生活が送れるよう工夫しています。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	趣味、娯楽、(塗り絵、パズル、ルービックキューブ等)を提供し失意混乱が無いよう常に 見守り援助をしています。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている。	菜園、花畑、鉢植え、また、ホームの周りの草取り等、個々に楽しみながら活動しています。		

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない

サービスの実績に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者様、個々に個々が私の家居場所と思って頂けるような支援を行っています。